

製品名: COL4A6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09190**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	160kDa

抗原情報

遺伝子名	COL4A6
別名	COL4A6; Collagen alpha-6(IV) chain
遺伝子 ID	1288.0
SwissProt ID	Q14031
免疫原	抗血清はヒトコラーゲン IVα6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1201-1250

背景

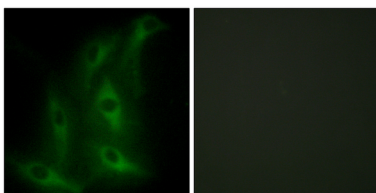
この遺伝子は、基底膜の主要構成成分である IV 型コラーゲンの 6 つのサブユニットのうちの 1 つをコードしています。IV 型コラーゲ

ン遺伝子ファミリーの他のメンバーと同様に、この遺伝子は別の IV 型コラーゲン遺伝子である $\alpha 5$ 型 IV 型コラーゲンと頭対頭の構造で構成されており、遺伝子ペアは共通のプロモーターを共有しています。 $\alpha 5$ 遺伝子の欠失が $\alpha 6$ 遺伝子にまで及ぶと、 $\alpha 5$ 遺伝子の欠失によって引き起こされる X 連鎖アルポート症候群に伴うびまん性平滑筋腫症が発生します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 12 月]疾患: COL4A6 および COL4A5 の N 末端領域をカバーする頭対頭方式で局在する欠失は、アルポート症候群に伴うびまん性平滑筋腫症 (DL-ATS) の原因です [MIM:308940]。食道外陰部平滑筋腫症 (腎症を伴う) またはアルポート症候群およびびまん性平滑筋腫症 (ATS-DL) としても知られています。DL-ATS は、アルポート症候群 (AS) とびまん性平滑筋腫症 (DL) を併発した疾患です。AS は進行性糸球体腎炎を特徴とし、高音性感音難聴、特定の眼異常 (水晶体斑および黄斑斑)、および糸球体基底膜欠損を伴うことがよくあります。DL は、主に食道の平滑筋細胞が関与する腫瘍性プロセスですが、気管気管支や女性生殖器の平滑筋細胞にも発生します。ドメイン: IV 型コラーゲンのアルファ鎖は、C 末端に非コラーゲン性ドメイン (NC1)、長い中央三重らせんドメインの G-X-Y 繰り返しの頻繁な中断 (三重らせんの柔軟性の原因となる可能性があります)、および N 末端の短い三重らせん 7S ドメインを持ちます。機能: IV 型コラーゲンは、糸球体基底膜 (GBM) の主要構成成分であり、ラミニン、プロテオグリカン、エンタクチン/ニドゲンとともに「チキンワイヤー」メッシュワークを形成します。PTM: トリペプチド繰り返し単位 (G-X-Y) の 3 番目の位置にあるプロリンは、一部またはすべての鎖で水酸化されています。PTM: IV 型コラーゲンには、インターフェロンおよびインターフェロンに関与する多数のシステイン残基が含まれています。分子内ジスルフィド結合。これらのうち 12 個は NC1 ドメインに位置し、既知のすべての IV 型コラーゲンで保存されています。類似性: IV 型コラーゲンファミリーに属します。類似性: 1 つの IV 型コラーゲン NC1 (C 末端非コラーゲン性) ドメインを含みます。サブユニット: IV 型コラーゲンには、 $\alpha 1$ (IV) から $\alpha 6$ (IV) までの 6 つのアイソフォームがあり、それぞれが他の 2 つの鎖と三重らせん構造を形成して IV 型コラーゲン ネットワークを生成できます。、

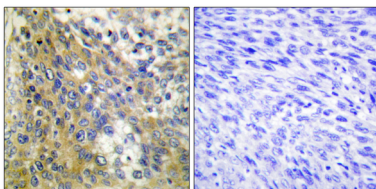
研究分野

接着斑、ECM-受容体相互作用、がんにおける経路、小細胞肺がん、

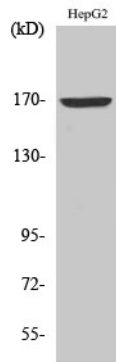
画像データ



コラーゲン IV $\alpha 6$ 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織のコラーゲン IV $\alpha 6$ 抗体を用いた免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



1: 500 に希釈した COL4A6 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析